

○事業所名	合志市社協「スペーシアれんが」	○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日～令和7年3月9日	○保護者評価有効回答数	対象者：39名 回答者数：16名
○従業者評価実施期間	令和7年3月3日～令和7年3月9日	○従業者評価有効回答数	対象者：12名 回答者数：12名

○分析結果

	事業所の強み	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに強化・充実を図るための取組等
1	子どもや家族の夢や希望の実現に向けた個別支援の実践	・子どもの権利擁護や合理的配慮の観点を踏まえた個別支援計画（わくわくシート）をこども版、保護者版とそれぞれに作成。面談にこどもの同席を促し、意思決定（意思形成）支援に取り組んでいる。	・「こどもの権利条約」や「障害者の権利条約」など、権利擁護に関する学びを深める。 ・個別支援に関して、構造化（保育士、児童指導員）、機能訓練（作業療法士）、健康管理（看護師）に関する取り組みを強化する。
2	さまざまな専門職の連携と融合	・発達支援の実践や活動プログラムの立案、各種ミーティング、質の向上に関する取り組みなどにおいて、異なる職種が混合したチームを形成し、専門性を活かしながら方向性の統一を目指したチームアプローチを意識している。	・発達支援の実践や質の向上に関する取り組みについて年間目標を設定し、PDCAサイクルを活用して業務を遂行する。
3	地域の子どもたちや住民、関係機関との協働による地域交流の展開	・運営母体である社会福祉協議会の強みを活かし、放課後児童クラブの子どもたち、地域住民、ボランティアの方々との交流プログラムを定期的実施し、広報誌等で保護者や地域に向けて情報発信を行っている。	・子ども同士の交流について、現在は小学生との交流が中心となっている。中学生、高校生、大学生などのクラブ・サークルへ働きかけるなど、対象の幅を広げる取り組みを行いたい。

	今後の課題、改善項目	課題の分析（要因等）	改善に向けた今後の取組等
1	安全計画に関する取り組みの推進	・安全計画に関する業務について、職員全体で取り組むシステムを構築する必要がある。	・月次ミーティングで安全計画を職員全体で確認し、当月の取り組みについてスケジュールを立てる。
2	各種マニュアル、安全計画等の保護者への周知	・現在は広報誌や公式LINEアカウントを通じて周知を行っているが、これらに加えて他の方法も検討する必要がある。	・周知の回数を増やし、写真を活用する。 ・個別面談の際にマニュアルや取り組みについて説明する。
3	生活空間の構造化（視覚支援）	・障がい特性についての理解を深め、構造化（視覚支援）に関する具体的な事例を活用する必要がある。	・障がい特性や構造化に関する学習会を実施する。 ・PDCAサイクルを活用して、取り組んだ構造化について考察する。